

2022年度学校評価

5：そう思う 4：どちらかと言えばそう思う 3：どちらとも言えない 2：どちらかと言えばそう思わない 1：そう思わない

保護者				生徒				教職員										
項目	質問文	評価	平均	項目	質問文	評価	平均	項目	評価指標	評価指標に対しての成果と課題	今後の改善方法	評価	平均					
学校運営	学校の特色がはっきりと示されていると思いますか	4.2	4	学校運営	学校の特色がはっきりと示されていると思いますか	4.2	4	学校運営	年間教育目標の実践と点検・現状における課題の解決・改善	芽室町とのジモト大学や議会との連携協定事業など、集団での活動に制限がある中でも、生徒が地域貢献等の活動を通して、可能な限り学校行事と部活動に取り組み、特別活動の実施には理解を得られている。	学校評価アンケート等の意見を大切にし、教員間での議論を活かして、指摘された改善点について担当部署で検討を行いフィードバックする。	3.4	3.4					
	教職員は、自分の学校に対して誇りや愛着を持って指導をしていると思いますか	4			学校は、さまざまな安全対策をとっていると思いますか	4				新型コロナウイルス感染予防対策	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、柔軟で迅速な対応を行いその都度丁寧に発信をしていたので今後は、一人一人の感染対策の意識向上のため、ホームルームなどでも粘り強く話す。	3.7						
	教職員は、教育に熱心に取り組んでいると思いますか	4.1			施設設備等の教育環境は充実していると思いますか	4.1					教員の意識改革と服務の遵守と実践指導力の向上	微々たるものですが意欲的に取り組んでいる教員・部署とそうでない教員との差が生じている。実践指導力は、個々の教員が「授業に関する研修」等で外部からの積極的な学びをしていくのが必要。		3				
	学校は、危機管理や安全対策に努めていると思いますか	4.1			学校は、学校改革に取り組んでいると思いますか	3.9						オンラインでの研修、校外での研修、資格取得など、積極的に取り組めるような環境の維持や啓蒙活動を強化が必要。						
	教職員の、電話や来客への対応は適切であると思いますか	4.2			生徒は、自分の学校に対して誇りや愛着がありますか	3.9			4		4	4						
	学校は、施設設備等の教育環境の充実に努めていると思いますか	4.2			教職員は、何事にも熱心に取り組んでいると思いますか	4.1				4								
	学校は、保護者や地域との連携や情報発信に努めていると思いますか	4.3			学校は感染症対策に十分配慮していますか	4												
	学校は、学校改革に取り組んでいると思いますか	3.9			学校は、教育活動を維持しつつ教員の働き方改革を進めていますか	3.8												
	学習指導	ICT教育を取り入れるなど、授業の指導方法や内容に工夫がされていると思いますか			4	3.6			学習指導	教職員は、生徒の実態を把握し、適切に指導していると思いますか	3.9	3.6		学習意欲喚起と学力向上	多くの教員が工夫を凝らしながら授業に取り組んでいるが、生徒に学ぶ意欲をもたせ、学力につなげるところが課題として捉える評価であった。	卒業後の明確な目標づくり（長期目標・短期目標）が必要と思われる。「勉強する」ことが当たり前で、「わかること」が楽しいという経験をさせる取り組みが必要。	2.9	3.1
		生徒は、授業を通して確実に学力が身につけていると思いますか			3.6					あなたは学習することは楽しいですか	3.2				ICT教育の推進	生徒が端末を持つのにつられて、の授業でのICT活用は普通になってきたことから授業の工夫に対する評価は高い。今後はオンライン授業もできる体制づくりも必要。	さらにICT機材の活用を研究し、より効果的な方法を提示する。そして、ICT機器を活用した生徒参加型の双方向の授業展開を目指したい。	
生徒は、意欲的に学習するように努めていると思いますか		3.6	学校はICT教育を取り入れるなど、授業の指導方法や内容は工夫されていると思いますか	4.1	基礎学力の定着		家庭学習習慣の定着には生徒・保護者・教員ともに課題と捉える評価であった。学力の定着に向けて、授業改革とともに家庭学習習慣の定着は不可欠である。	休校期間に取り組んだwebを使った課題配信を学校再開後も続け、そこにどう取り組ませるか、また勉強する習慣をつけさせることを目指したい。		2.8								
生徒は、家庭学習の習慣が身につけていると思いますか		3.2	生徒は授業を通して、確実に学力が付いていると思いますか	3.6			3.8											
生徒は、家庭学習の習慣が身につけていると思いますか		3.2	生徒は「Classi」など学習記録を活用して進路を意識した学力の向上に努めていますか	3.6				3.1										
休校期間中、学校の学習指導は十分でしたか		3.6	生徒は家庭学習をきちんとしていますか	3.1	3.8													
休校期間中、学校の学習指導は十分でしたか		3.6	休校期間中、学校の学習指導は十分でしたか	3.8														
学級指導	生徒間に、好ましい人間関係が構築されていると思いますか	4	4	学級指導	生徒はクラス・学校の一員としての自覚を持っていますか	4.2	4.1	基本的生活習慣の確立と心身の健全化	教員の指導が届く校内での生活は当然のこと、登下校や自宅での生活、長期休暇の生活などは、保護者の協力が必要。	担任を中心にクラスの生徒との会話を増やし、信頼関係を強める。教員は生徒の人間関係や悩みに、さらにきめ細かく対応することが求められている。また、生徒の意識改善には担任や教員全体で足並みを揃える必要がある。	3	3.2						
	生徒の、悩みや問題に対して適切に対応していると思いますか	3.8			生徒同士の間関係は良好ですか	4.2			集団における役割と協調性を育てる	生徒の悩みや問題にたいする対応は、より敏感な対応が求められる。生徒の異常に対する態度を高め、悩みの相談にのる体制を強めたい。	集団の中で生徒の意識を見るQ-U検査結果や学校生活アンケートを効果的に利用して予防的対応に務める。そして、互いを尊重し合える豊かな人間関係を育成する。		3.3					
	生徒は、クラスが楽しいと言っていますか	4.2			学校は、悩みや問題に適切に対応してくれていますか	3.9		4.1										
	生徒は、クラスが楽しいと言っていますか	4.2			あなたは学校は楽しいと思いますか	4.1												
生活指導	生徒は、礼儀や挨拶がきちんとしていていると思いますか	4.3	4.2	生活指導	生徒は礼儀や挨拶はきちんとできていますか	4.2	4	規範意識を定着させる生活指導	挨拶の励行や校外でのマナーおよびに頭髪・服装などの身だしなみに関しては、課題と捉える評価であった。1人1人の意識の問題でもあるので、情報共有が必要。	頭髪・服装指導には、教員集団が共通認識を持ち、統一した視点で指導することが必要である。そのためには、教員全員が連携し、継続して丁寧に根気強く指導を行っていく。	2.8	3.2						
	生徒は、頭髪・服装等の身だしなみがきちんとしていていると思いますか	4.2			生徒は登下校のマナー等は守られていますか	4			安全安心で秩序ある学校生活	非行事件は減っているものの、制服での登下校など基本的な習慣の継続に課題。持ち物管理の徹底や携帯の使用方法など啓蒙活動を強化が必要。	防犯等の観点からも、監視カメラの設置の検討が必要。教職員のコンセンサスと、生徒への説明等も必要。		3.3					
	生徒は、頭髪・服装等の身だしなみがきちんとしていていると思いますか	4.2			生徒は学校生活において、清掃や整理整頓に努めていますか	4		4.1										
	学校は、清掃や整理整頓が行き届いていると思いますか	4.2			生徒は施設・設備・備品等を大切に使っていますか	4.1				3.9								
	学校は、清掃や整理整頓が行き届いていると思いますか	4.2			生徒は学校のきまりをきちんとしていますか	3.9												
	進路指導	進路に関する情報が、十分に知らされていると思いますか			3.8	3.7		進路指導	学校から、進路に関する十分な情報を知らされていますか	4	4		進路指導	生徒個人に応じた目標設定と進路希望の実現	生徒の多様な進路希望に沿って、それぞれの進路に応じたきめ細かな進路指導と進路相談をより充実させ、保護者へもさらにきめ細やかな発信に心掛けたい。進路希望の多様化に応えるよう、受験での進学希望者への学力向上のための講座は継続実施する。	学級担任・進路指導担当等が連携して生徒の進路希望の実現を目指す。併せて、保護者への連絡も密にして、学校・家庭での連携した指導を目指す。	3.4	3.2
進路に関する指導面談が十分に行われていると思いますか		3.7	進路に関する指導・面談が十分に行われていますか	4														
進路に関する指導面談が十分に行われていると思いますか		3.7	進路に関する指導・面談が十分に行われていますか	4														
特別活動指導	教員は、部活動の指導に熱意を持って当たっていると思いますか	4.5	4.1	特別活動指導	生徒は学校行事や生徒会行事に積極的に取り組んでいますか	4.3	4.2	特別活動指導	生徒個人に応じた目標設定と進路希望の実現	新型コロナウイルスによる部活動には多々制限があったが、部活動顧問の指導に対しては生徒・保護者と高い評価をしている。感染症予防に配慮しての活動が理解されていると考える。生徒会活動も丁寧に言い制限のある中でも生徒会企画はかなり充実したものにしている。	生徒会活動については、多くの生徒が自主的に関わり達成感が得られるよう、生徒会主催行事への積極的な参加を促す。	3.6	3.2					
	生徒は、学校行事や生徒会行事に満足していると思いますか	4			生徒は委員会活動や係りの仕事に積極的に取り組んでいますか	4.2												
	本校の教育活動全般に対して満足していますか	3.9			教員は部活動の指導に熱意をもって当たっていると思いますか	4.4												
	部活動は、感染症対策に十分配慮して活動していますか	4.1			部活動は、感染症対策に十分配慮して活動していますか。	4.2												
研究・研修	授業改革の推進とその発信。教員の資質向上への取り組み				授業改革の推進とその発信。教員の資質向上への取り組み			研究・研修	授業改革の推進とその発信。教員の資質向上への取り組み	本校ではiPadや電子黒板の導入は早かったですが、他校も導入を進めていく世の流れの中で、本校の特色とは言えなくなってきたと思うが、放課後のオンラインでの研修等、熱心に取り組まれ、普段の授業にもつながる実践的な学びをなさっていると推測する。	教科内での研究授業を積極的に推進し、研修会への参加など教員自身の資質向上に務める。	3.4	3.2					
	地元地域との積極的な連携と外部講師による体験的学習の推進				地元地域との積極的な連携と外部講師による体験的学習の推進				芽室町のボランティア（花壇の整備、かちフェス、めむクリ、観光イベントの発案）など、芽室町での活躍が目立った年だったと思う。実際に参加した生徒の様子を見ると、積極的に取り組んでいたことから評価は高い。	総合的な探求の時間での学びと絡めて、体験実習的な学習の機会を増やし、引き続き芽室町と連携した校外活動を続ける。	4.1							

白樺学園高等学校 学校関係者評価委員会による評価報告

令和5年2月9日（木）19：00～

白樺学園高等学校 第1会議室にて実施

〔1〕 学校運営に関する評価について

生徒および保護者の評価は平均的に高評価なのに対して、教員の自己評価の平均値が低い結果となっているが、今後よりよい学校作りへの教職員の問題意識・改善姿勢がうかがわれるが故のポジティブな結果と判断される。

コロナ禍の学校運営のなかにあっても芽室町をはじめとする地域との連携事業や、新コースの開始など新たな取り組みがスタートするなど、学校全体での今後の継続的な取り組みによる成果が大いに期待されるが、一部の教職員のみの負担や努力ではなく全教員での意思統一による成果向上も期待したい。

次年度以降も教職員のこうした意識・姿勢を大切にしてもらいながら、生徒・保護者からいただいた評価や意見、改善要望を募るだけでなく、現在利用されている学校HPやClassi等のツールを活用した情報発信で、誤解なく適切かつタイムリーに丁寧な対応・改善をしていくことで、生徒・保護者の気持ちを大切に学校の好循環が期待される。

〔2〕 学習指導に関する評価について

本校と同様に生徒一人一台端末が公立高校でもスタンダードとなり、他校との差別化は難しくなっているなか、教職員の評価は更なるICT技術のスキル改善への余地があるとする評価と思われる。

ICT教育を先進的に導入してきたことによる教職員の経験の蓄積と更なる授業改善への取り組みは、文科省の求める「主体的・対話的で深い学び」の実現に取り組もうとする教職員側の意識として、生徒・保護者の高評価となって表れていることがうかがわれる。

また、若い先生方がオンライン研修に参加して授業改善や学級運営のスキルアップに取り組んだり、日々進化するICTツールの利用技術習得に積極的に取り組み、それらを生徒達へ還元しようとする姿勢も高く評価される。

近隣の中学生対象の「高校進学サポート教室」による学び直しの場の提供も行っており、広く利用が期待されるとともに、今後は授業のみならず、本校特有の幅広い学力層の生徒達に応じた家庭学習の習慣化や生徒の学習意欲の喚起・向上へのとりむみにも期待したい。

〔3〕 学級指導に関する評価について

生徒・保護者とも概ね評価は高いが、不登校や、悩みを抱えた生徒に対する対応や、担任交代によって進路指導等での生徒対応が不十分だったという意見も聞かれた。

年2回のQ Uテストの実施分析と活用によって、すべての生徒が安心・安全で楽しい学級

集団を醸成していく教職員の対応力向上に期待するとともに、引き続き校長先生以下全教職員で生徒への指導ではなく支援・サポートする体制の充実に期待したい。

〔４〕 生活指導に関する評価について

保護者からの評価は、身だしなみ、挨拶、校舎敷地の美化などの面で高評価・印象を得ている反面、教職員の評価において、服装や盗難防止などの観点において共通認識を持った対応の必要性を課題としていることがうかがわれる。

近年社会的に問題となっている「ブラック校則」に代表されるように、現状の生徒実態と本校の男子生徒の頭髪基準に食い違いがあるが、集団としての秩序を乱すことがない範囲内では容認している実態もあるようである。

学校としても生徒への押しつけではない形での校則の見直しに次年度以降本格的に取り組もうとしており、そうした取り組みが結果的に生徒達自身に「なぜルールを守らなくてはいけないのか」を考える機会を与えることにもつながり、時代に即して不必要な校則を見直して、生徒と教職員が協同して今後よりよい学校を想像していくことに期待したい。

〔５〕 進路指導に関する評価について

教職員・保護者の評価が生徒に比べて低い結果となっている。具体的な事例として担任の先生の情報発信と実態に食い違いが評価委員にも複数件伝わっている。

・夏休み前の三者面談で９月の前期期末考査の頑張りで大学の指定校推薦枠がもらえと言われたのに、考査結果が出る前の考査期間中に指定校推薦を決める会議を先生方がしていた。

・就職の求人票には採用人数が複数あり、出願前に応募しようとする企業にも関係者から一校から複数応募も可と言われていたが、担任および進路の先生から白樺からは一人しか応募できないと、詳しい説明もなく言われ、校内選考で自分以外の生徒のみの応募となり、その生徒は他社を受験せざるを得なかった。

進学・就職ともに出願前段階での担任および進路指導の先生方の丁寧な説明と対応が求められる。保護者・生徒ともに、卒業後の進路決定が高校生活でも重要な局面、最大の関心事であることから上記のような事例が発生しないような納得感ある対応をお願いしたい。

〔６〕 特別活動指導に関する評価について

コロナ対策を講じながら、少しずつ学校行事や特別活動を通常に近い形で実施しようとする姿勢が保護者・生徒の高評価となって表れている。

学校祭ではうまく接続できず視聴困難だったが Zoom を用いて保護者へ発信したり、感染対策をしっかりと講じた上で秋の体育祭を保護者向けに公開したりするなど、教職員側

の工夫や努力に感謝している。

白樺学園に子どもを通わせる保護者からも、子どもが毎朝「学校に行きたい」と言ってくる雰囲気を作ってくれていることが何よりも大切であり、そういった地域の評価が広がっていくことを期待したい。

〔7〕 研究・研修に関する評価について

上述〔1〕、〔2〕での評価と同様につき省略

〔8〕 その他

学校評価全般を通してうかがえることは、学校・教職員が、学校改善に努力しようとする姿勢が伝わってくる。その中でも、地域との関わりに重点的に取り組んでいる部分を高く評価したい。

地域との関わりは人を育てる重要な場面となるので、今後の芽室町との連携に大いに期待したい。

～要望～

- ・体育館棟女子トイレについて。

公式戦大会等で本校体育館が利用されることも多く、アスリートファーストの観点からも女子トイレの和式を洋式に再整備することをお願いしたい。

- ・教室棟の網戸設置

2022 年度白樺学園高等学校

学校評価 第三者評価委員会による評価報告

令和5年3月20日（月）19：00～

白樺学園高等学校 会議室にて実施

〔1〕 学校運営に関する評価について

教職員の問題意識の共有と改善、学校改革に取り組もうとする姿勢を、今後とも校長以下全教職員で推進していくことに期待したい。

その中でも、芽室町など地域との連携を強化して生徒の教育を活性化しようとしている取り組みとその成果に期待したい。

〔2〕 学習指導に関する評価について

近隣の中学生対象の「高校進学サポート教室」による学び直しの場の提供や、不登校をはじめ様々な理由で教室に入れない生徒等へ対しても、タブレットを利用して別室の生徒とリアルタイムでのオンライン授業を行っていることなどをお聞きし、多面的な「学ぶ機会の確保」へ向けた生徒への親切かつ丁寧な取り組み等は高く評価したい。

また、ICT教育を先進的に導入し、継続的に授業改善に取り組んでいる取り組みを、現在行われている中学校への出前授業やオープンスクールでの模擬授業の他に、中学生や地域の方にもっと知ってもらえるようなる取り組みを今まで以上に増やし、こうした白樺学園の取り組みをアピールする機会を増やすことがあってもよいのではないかと期待したい。

〔3〕 学級指導に関する評価について

中学校年代でも不登校などの生徒・保護者間における問題が増加傾向にあるなか、白樺学園は校長先生以下各担任の先生が親身な対応を行っていることが伺われた。

次年度以降も、教員間での情報共有や生徒・保護者への対応力向上に期待するとともに、引き続き校長先生以下全教職員で生徒への指導ではなく支援・サポートする体制の充実に期待したい。

〔4〕 生活指導に関する評価について

挨拶や身だしなみ面で高評価を維持向上させつつ、盗難防止などの安全面での工夫改善に期待したい。

また、生徒と教職員が協同して今後よりよい学校を創造していくための「校則の見直し」の取り組みとその成果を次年度以降大いに期待したい。

〔５〕 進路指導に関する評価について

生徒・保護者への情報提供のタイミングや丁寧さを一層お願いしたい。

時代の変化やニーズに対応すべく、学校内でのいわゆる「古い体質」的なものを積極的に見つけ出し、改善していこうとする雰囲気の醸成が必ず進路指導等の場面でも生徒のプラスにつながり、進路面でも生徒の主体性を尊重した対応を期待したい。

〔６〕 特別活動指導に関する評価について

コロナ禍にあっても多方面で生徒が大いに活躍している姿が見られており、教職員側の工夫や努力を今後も期待したい。

〔７〕 研究・研修に関する評価について

上述〔１〕、〔２〕での評価と同様につき省略

〔８〕 その他

生徒・保護者・教職員の評価結果と学校関係者評価を踏まえ、校長から令和５年度「学校方針」の骨子説明が行われた。

- ① 海外大学指定校推薦制度を利用した、進路の海外への拡大
- ② 芽室町と連携した探究の取り組み
- ③ 高校駅伝界への本格的な参入
- ④ 生徒が主体となった「校則の見直し」
- ⑤ 生徒の主体的・対話的で深い学びを実現するための“指導”を超えた教育のあるべき姿の模索

上記５点の新たな取り組みを加え、地域から求められる魅力ある学校になるよう、今後も学校改善を継続的に取り組んでくれる意欲が大いに感じられた。